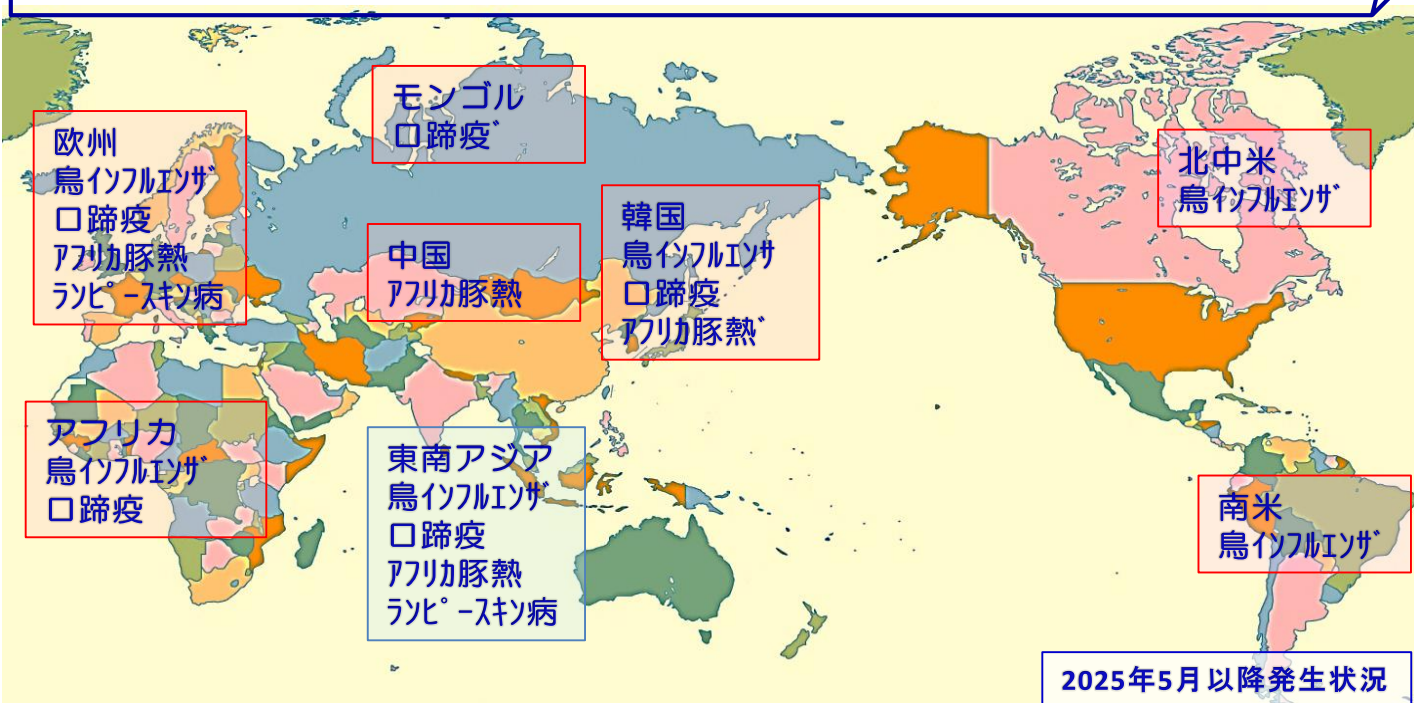


夏季期間における家畜防疫対策の徹底

- ◆近隣諸国を含めて世界中で口蹄疫、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、ランピースキン病の発生が依然として続いています。
- ◆夏季期間では人・物の移動が多くなり、特に海外からの入国者の増加により感染リスクが高くなることが想定されます。
- ◆現在最も警戒すべきは口蹄疫の国内侵入です。府内農場内への侵入防止のため、畜産農家におきましては一層警戒感を持って、飼養衛生管理基準遵守の徹底をお願いします。



- ◆畜産関係者におきましては、家畜伝染病発生地域への渡航は自粛してください。家畜伝染病発生地域からの畜産物等持込み禁止の徹底をお願いします。
- ◆衛生管理区域や畜舎への立ち入りの際は、「長靴・手指を消毒する」、「専用の手袋や長靴を着用する」等、病原体の持ち込み防止の徹底をお願いします。
- ◆家畜の健康観察を毎日実施し、異常を認めた際は、診療獣医師や家畜保健衛生所へ速やかに連絡をお願いします。